

事件発生！ 読者は作

中の手がかりから探偵と一緒に、誰が、なぜ、どうやって犯行を成し遂げたのかを解明する。

みなさんは推理小説を読みますか。ガリレオシリ

ーズで有名な東野圭吾さん、ライトノベルで活躍している西尾維新さんなど、推理小説は幅広い年代で男女問わず人気です。今は定着している推理小説というジャンルですが、いつ

始まりどのように日本で展開してきたのでしょうか。世界初の推理小説は、

アメリカの作家エドガー・アラン・ポーが1841年に発表した「モルグ街の殺人」とされています。不思議な事件が起き、オーギ

ュスト・デュパンという「名探偵」が登場すること、論理的な推理と意外な

結末があり、鍵がかかって出入りできない「密室」というトリックを扱っていることなどが理由です。

日本で初めて推理小説

# 乱歩が国内普及に一役

鈴木 優作さん

（鹿児島大学法文学部付属「鹿児島近代」教育研究センター特任助教）



で新聞記者をしていた黒岩涙香です。涙香はとても英語に堪能で、海外の推理小説を三千冊読破したともいわれています。

89年に「無惨」を発表し、勘と経験を頼りに捜査を進めるベテラン刑事と、

論理学や科学技術を用いて捜査をする若手刑事の

謎解き競争を描きました。それでは日本に推理小説

は誰でしょうか。みなさんも一度は名前を聞いたことがあるかもしれません。江戸川乱歩です。今年で連載

## クイズ

江戸川乱歩作品に登場する名探偵は次のどれでしょうか。

- ①金田一耕助
- ②明智小五郎
- ③神津恭介

【正解は②】

明智小五郎が初登場するのは「D坂の殺人事件」です。当初は定職を持たず外見にも気を使わない犯罪学に詳しい変わりものでした。次第にスーツに身を固め自分の事務所を構え、少年探偵団を率いる立派な私立探偵へと変化していきます。①は横溝正史の作品、③は高木彬光の作品に登場します。3人を合わせて「日本三大名探偵」と呼ばれることがあります。



黒岩涙香



エドガー・アラン・ポー



江戸川乱歩

1925年発表「心理試験」に登場する心理テスト



単語	連想した言葉	かかった時間(秒)	連想した言葉	かかった時間(秒)
歌う	唱歌	1.1	女	1.5
殺す	ナイフ	0.8	犯罪	3.1
山	高い	0.9	川	1.4
犯罪	人殺し	0.7	警察	3.7

- ある単語を聞いて、連想する言葉とそれを言うのにかかった時間から犯人の心理を調べる
- 単語の中に「事件に関係するもの」を混ぜる
- 犯人であれば、犯行に関する単語を連想して答えてしまったり、あるいは言わないようにして時間がかかったりする



◆ 答えは… 作品を読んでみよう

イラスト: きたむら まさみ

30周年を迎えた推理マンガ「名探偵コナン」の「江戸川コナン」君の名字にも使われていますね。江戸川乱歩はペンネームで、エドガー・アラン・ポーの名前に由来します。乱歩が生み出したキャラクター「怪人二十面相」や「少年探偵団」は今でも広く知られていますね。乱歩は暗号を扱った作品「二銭銅貨」で1923（大正12）年にデビューします。海外の推理小説を数多く掲載していた雑誌「新青年」の編集部に原稿を送りますが、なかなか読んでもらえませんでした。当時、日本人が本格的な推理小説を書けると思われていなかったからです。乱歩に催促されてよう

やく原稿を読んだ編集長はその完成度で大変驚き、掲載に至りました。乱歩も英語が得意で、原書で読んだ西洋の作品や新しい科学知識を作品に応用しています。25年の「心理試験」という作品では、ある単語を聞いて連想する言葉とそれを言うのにかかった時間から犯人の心理を調べるという、心理テストが登場します。そうやって、日本の推理小説は西洋の作品や科学知識を取り入れながら発展してきました。現代の推理小説も、こうした近代の国内外の作品を参考にして、さらに新しいトリックやストーリーを生み出しています。（第3回金曜に掲載します）